
編集後記

幹事会では技報の早期発刊を目標にしておりますが、数年前より3月発刊が定着したようです。

今年度は技報の内容を詳しく解説していただく目的で、阪神高速道路管理技術センターの主催で「技報論文講習会」を9月に開催しました。講演者の方々にはご多忙中時間をさいいただきありがとうございました。

新春のテレビ放談の中で「話すために書き、書くために読み、残すために印刷する」という発言がありました。各ステップの順序が特に重要そうですが、技報も同じような順序で技術情報として印刷物になり記録蓄積されることは貴重なことではないでしょうか。各部の技術を巾広く盛り込みたいと、テーマ選定を行っておりますが、この技報が現状を知ってもらうのに役立ち、技術向上にいささかでも貢献することを幹事一同念願しております。

グラビア写真の編集に苦労しております。工事中の適当な写真を御提供下さい。

最後になりましたが巻頭言を執筆していただいた藤村理事、編集委員長の今井審議役、御協力いただいた著者の皆様に心から感謝いたします。

(杉山 功記)
